平成20年度 第5回 新潟市地域包括支援センター運営協議会 議事概要

日時:平成21年2月4日(水)午後3時~

場所:新潟市役所 本館3階 301会議室

(出席委員(五十音順))

石原美由紀委員 岩橋康夫委員 加藤智章会長 上村和雄委員 齋藤忠雄副会長

高橋フミエ委員 土田孝子委員 樋熊紀雄委員 藤本綾子委員 細道奈穂子委員

堀田利雄委員 松島欣子委員 簗取多喜子委員 山田豊委員 吉田淳子委員

(事務局)

高橋課長(高齢介護課) 佐藤課長補佐(高齢介護課) 藤野係長(高齢介護課)

星野主査(高齢介護課)

次 第

1 開 会

- 欠席は神成康一委員,木滑孝一委員,仁多見浩委員,本間友能委員,渡邊英昭委員。
- 会議録の作成について承認あり。

2 議事

(加藤会長)

それでは、引き続き、地域包括支援センター運営協議会に移りたいと思います。

議事の(1)地域包括支援センター設置運営法人の公募に関する応募状況につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。

(高橋高齢介護課長)

地域包括支援センターの公募結果について、資料1に基づきまして、ご説明させていただきます。公募期間は1月10日から2月3日まで、昨日まででございます。説明会の開催は1月21日水曜日に実施しまして、出席事業者は8法人ございました。応募の受付は平成21年1月26日から2月3日、昨日で締め切らせていただいたところでございます。

その結果が3番、応募者数でございます。中央区の関屋・白新中学校圏域については応募が3法人ございました。いずれも社会福祉法人からでございます。南区の白南・白根第一中学校圏域は1法人でございます。これも社会福祉法人からでございます。問題なのが、南区の臼井・白根北中学校圏域で、これは現在応募がない状態になっております。

4番目の応募空白圏域についてでございますが、応募のなかった臼井・白根北中学校圏域について、申し訳ありませんけれども、12日木曜日まで募集期間を延長させていただきたいというのが事務局の提案でございます。応募のあった関屋・白新中学校圏域並びに白南・白根第一中学校圏域については、応募を締め切らせていただきたいということで、ホームページへの期間延長の内容、説明会出席全事業者へもその旨の通知を行いたいと考えているところでございます。

期間延長によっても応募がなかった場合については、前回の会議の方針によることになります。参考ですが、四角枠はご了承いただいた会議の方針でございます。

応募のない又は、候補者の選定されない圏域については、下記の順で対応しますということで、1番目は 他の圏域での下位の候補者へ受託の意向を確認し、希望のある場合には該当圏域においても運営する能力が 期待できることを確認し、運営協議会で協議し候補者にできることとします。

上記の候補者がいない場合には、適切な対応案を運営協議会で協議するという2点を方針として定めております。私どもについても、12日の応募があるように働きかけをしていきたいとは考えておりますが、この度は、12日まで応募期間を延長させていただきたいという提案ということでございます。

5番目のスケジュール案ですが、臼井・白根北中学校圏域については12日まで応募期間を延長し、2月18日に運営協議会を開催します。そして、選定結果通知、意向調査票を発送させていただきたいということで、万が一応募がなければ、また運営協議会も確認のためにもう一度開かせていただくような事態もあろうかと考えているところでございます。

(加藤会長)

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

(石原委員)

地域包括支援センターというのは地域の高齢者の方々の相談の場所なのですということで、紙芝居等も作って高齢者の集まりにアピールに上がっているのです。そういったところに何回か出させていただきましたが、非常に地域包括支援センターによっても忙しさが違うと言うとあれですけれども、アピールをして対象者に利用してもらいたい、知名度を高めたいという働きかけをしている地区だと認識していたのですが、ここで応募なしと出てきたのは、現場の包括支援センターの職員の人たちとの接触でしたけれども、センターを経営されているところの事情が当然おありだと思うのですが、なぜ応募がなかったのかというのが一番素朴な疑問なのですけれども、その辺の理由について分かりましたらお願いいたします。

(加藤会長)

どうでしょうか。難しいのでしょうか。

(高橋高齢介護課長)

既存の包括支援センターの個々の事情があって、二つの圏域から更新という意向が示されなかったために、 今回、公募をかけざるを得ないという事情があったということです。個々の事情については、公開の場なの で発言は遠慮させていただきます。一生懸命やっているということは私どもも承知しているのですけれども、 やはり法人の事情があって更新の意向を示されなかったということでございます。

なぜ応募がなかったのかということについては、地域的な問題もあるのかとか、あるいは経営面ではなかなか難しいのかどうかというあたりの2点の中で、この圏域だけは躊躇されたのかもしれないとは思っているところでございます。はっきり申し上げられなくて申し訳ないのですけれども。

(加藤会長)

万が一応募がなくて、②でも出てこなかったということになると、どうなのでしょうか。

(高橋高齢介護課長)

そうならないように努めたいとは考えていますが、それについては正直なところいい案がない、手詰まりの状態でございます。いろいろなところに打診をしながら、最終的にこれでも空白区域が出ないような形で、私どもも努めていきたいとは思っております。最後、そうなった場合にどうするかとなりますと、想像するのもなかなか難しいので、なるべくそうならないように努めたいと思います。

(加藤会長)

ほかにご質問、ご意見ございませんか。事務局も大変だと思いますが、よろしくお願いいたします。 ほかに質問がなければ、次の議題に移りたいと思います。

それではその他について、事務局からお願いいたします。

(佐藤課長補佐)

ございませんが、一応この公募結果を踏まえまして、今ほどの方針で進めさせていただきたいと思います ので、お願いいたします。

(加藤会長)

そうすると、ここにあった3法人や白南・白根第一中学校圏域の1法人について、あるいは出てきていただけなかったところについて、次回議論するという理解でよろしいですか。

(佐藤課長補佐)

次回は選定となりますが、中央区は3法人ございますので3法人とも候補者になった場合、その後もし動きがなかった場合については、2法人に意向調査させていただきたいという形になりまして、それで意向が

あれば、その結果を委員会に諮らせていただくというスケジュールになります。12日までにもし応募がない ということになると、その後のご相談も18日にやらせていただくということになると思います。

(加藤会長)

分かりました。ほかにないようでしたら、これで包括支援センター運営協議会を終わりまして、事務局に お返ししたいと思います。

3 閉 会